

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【公開番号】特開 2003-41018 (P2003-41018A)  
 【公開日】平成 15 年 2 月 13 日 (2003.2.13)  
 【出願番号】特願 2001-233961 (P2001-233961)  
 【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 J 5/18  
 // C 0 8 L 67:02

【F I】

C 0 8 J 5/18 C F D  
 C 0 8 L 67:02

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱収縮性ポリエステル系フィルムにおいて、

多価アルコール成分 100 モル % 中、1,4-シクロヘキサジメタノール成分が 10 ~ 50 モル % であり、

10 cm × 10 cm の正形状に切り取った熱収縮性ポリエステル系フィルムの試料について、下記 (A)、(B) および (C) の熱収縮率が、(A) : 5 ~ 50 %、(B) : 65 ~ 75 %、(C) : 10 % 以下であり、

(A) : 70 の温水中に 5 秒浸漬して引き上げ、次いで 25 の水中に 10 秒浸漬して引き上げたときの最大収縮方向の熱収縮率、

(B) : 85 の温水中に 5 秒浸漬して引き上げ、次いで 25 の水中に 10 秒浸漬して引き上げたときの最大収縮方向の熱収縮率、

(C) : 85 の温水中に 5 秒浸漬して引き上げ、次いで 25 の水中に 10 秒浸漬して引き上げたときの最大収縮方向に直交する方向の熱収縮率、

フィルムの最大収縮方向での厚み変位測定を、長さ 50 cm、幅 5 cm の試験片について行ったとき、下式 (1) に規定する厚み分布が 7 % 以下であることを特徴とする熱収縮性ポリエステル系フィルム。

厚み分布 = [ (最大厚み - 最小厚み) / 平均厚み ] × 100 (1)

【請求項 2】

フィルムの最大収縮方向についての熱収縮試験を、90 の熱空気中、試験片幅 20 mm、チャック間距離 100 mm の条件で行ったとき、最大熱収縮応力値が 8 ~ 16 MPa 以上である請求項 1 に記載の熱収縮性ポリエステル系フィルム。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の熱収縮性ポリエステル系フィルムから得られたものであることを特徴とする収縮ラベル。